

# H-TEC TIMES

Honda Technical College kansai

学校法人ホンダ学園  
ホンダ テクニカル カレッジ 関西

〒589-0012 大阪府大阪狭山市東くみの木2丁目1937番地の1  
TEL:072-366-9011 FAX:072-360-2230

発行責任者  
校長 澤田 武美

ホームページ・ケータイ サイト  
[http://www.hondacollege.ac.jp/honda\\_w/](http://www.hondacollege.ac.jp/honda_w/)

QRコード対応  
ケータイで  
簡単アクセス!



## 笹本執行役員トップトーク

～Hondaにおけるロボット技術とモノづくりへの応用～



積極的に質問する学生たち

トーキーを開催しました。  
今年度は本田技研工業(株)執行役員及びホンダエンジニアリング(株)代表取締役社長 笹本裕詞さんによる「Hondaにおけるロボット技術とモノづくりへの応用」についてのお話を頂きました。

このトップトークは将来ホンダグループで活躍する本校の学生に今後

のHondaの方針をトップから発信して頂く事で視野を広げモチベーションをあげと共に今後の技術習得への目標をしっかりと持つもらう事を目的としています。

今年度はHondaのフィロソフィーと生産自動化技術の歴史、最新のロボット技術と生産現場への応用について、映像を交えながら、分かりやすく教えて頂きました。

学生達は生産工程でのロボット技術に驚きながら、真剣に話を聞き、メモを取っていました。和やかな雰囲気の中、質疑応答では積極的に学生から質問がされ自動化できない人間の手が必要な工程や新設された寄居工場の組立で自動化工程の苦労話などを更に深く聞かせていただきました。

生産現場では必ず問題が起こりますが、そこには人、現場一体で解決・発展・展開させることで強い現場の人が嫌がる仕事を、品質が安定しやすい工程を自動化していく、定しやすい工程を自動化していく、というコンセプトのもと1970年代から生産ラインを構築してきました。特に人が嫌がる仕事を、品質が安定しますが、そこには人間並みの2つの腕が協調で繋がれており、生産工程においてもそれが実現されています。

最新のロボット技術を活用した生産ラインでは認識技術を応用した部

理性ことどり・夢と情熱でやりきりの精神でやります。

創業者本田宗一郎さんの想いが受け継がれており、生産工程においてもそれが実現されています。

Hondaのモノづくりは徹底した合

理性ことどり・夢と情熱でやりきりの精神でやります。

生産現場では認識技術を応用した部

理性ことどり・夢と情熱でやりきりの精神でやります。

生産現場では必ず問題が起こりますが、そこには人、現場一体で解

決・発展・展開させることで強い現場

の人が使いやすいようにロボット

から社会に出て、Hondaのフィロ

ソフィーを実践して、一人ひとり、周

りのみなさんと信頼関係を作れるよ

うに頑張つて欲しいと思います。

最新のロボット技術を活用した生

産現場では認識技術を応用した部

理性ことどり・夢と情熱でやりきりの精神でやります。

生産現場では認識技術を応用した部

理性ことどり・夢と情熱でやりきりの精神でやります。